

平成30年度秋田市社会福祉審議会 第4回地域福祉専門分科会会議録

日 時：平成31年1月31日(木) 13時30分から14時40分まで

場 所：秋田市役所本庁舎5階 第2委員会室

出席者：委員8人

事務局（佐々木部長、齋藤室長、秋山副参事、三浦副参事、佐々木副参事、
山上主席主査、進藤主席主査、加藤主席主査、永井主任、
佐々木主任）

欠席者：4名（宇佐見 昭一委員、尾野 恭一委員、進藤 香代子委員、
土肥 良三委員）

主な意見

【議事】

(1) 第4次秋田市地域福祉計画の策定について

- | | |
|-----------|---|
| (遠藤委員) | ○「障がい」という言葉の表記について、県では「障害」という表記で統一するような動きがあると聞いているが、市の考え方はいかがか。 |
| (事務局) | ○秋田市では現在、法律用語の固有名詞としては「障害」という表記を用いているが、それ以外の場面では基本的に「障がい」と表記している。今のところ、表記について変更する考えはない。 |
| (原委員（議長）) | ○資料に記載された意見内容で「公・共・私」の並び順について言及があるが、行政の計画では一般的であるこの順でよいと思う。ただし、計画案43ページ下部の表中の括弧内に、「自助」、「共助」、「公助」という表現がそれぞれあり、この記載を目にしてそのような意見が出てきたのではないか。このページにおいては、「公・共・私」の表現を用いるならば、「自助」、「共助」、「公助」の表現は不要と考える。 |
| (事務局) | ○ご意見のとおり、表中の該当の文言を削除する。 |
| (蓬田委員) | ○資料同ページ中の課題解決の基本構造図について、「私」が先頭にあるが、こちらの図との整合性についてはいかがか。 |
| (事務局) | ○図の表現を改めたい。市民協働の考えが根底にあることから、「私」と「共」の位置を入れ替える案を提示したい。なお、「私」が先頭にあることに特別な意味があるかどうか、また、 |

他の計画等との整合性に問題がないか確認したうえで、後日、原専門分科会長と事務局との間で協議し、2月14日（木）に予定している社会福祉審議会の全体会へ報告する計画（案）を確定させることとする。

（上村委員）

○資料45ページの地域の範囲について、表中の単位が「ブロック」となっている。地域や地区と言われればイメージしやすいが、ブロックはなじみの無い言葉でイメージしにくい。

（事務局）

○「個」とほぼ同一の意味で用いており、広がりを持った地理的範囲を表現するため、「個」ではなく「ブロック」とした。

（上村委員）

○一般的に通用するのであればよいが、注釈を加えることも検討してほしい。

（原委員（議長））

○地域と地区については単位も「地域」、「地区」とすればいいのではないかと思うが、近隣については、町内会や自治会を想定しているのであれば、「約1,000の町内会・自治会」としてはいかがか。

（事務局）

○では、ご意見を踏まえ、ブロックという単位を修正して、「5または7地域」、「おおむね38地区」、「約1,000町内会・自治会」とする案を提案するが、いかがか。

（委員一同）

○異議なし。

（原委員（議長））

○それでは、これまでの討議を反映した案をもって、当分科会における最終案として、全体会に答申案として報告したい。

（2）その他

（特になし）

（以上）